

Press Release

2006.4.27 15:00

帰島後一年余、三宅島の自然がお茶の間で。

日本野鳥の会は、三宅島のアカコッコなどの生息地にインターネットカメラを設置。

(財)日本野鳥の会(本部：東京、会長：柳生博、会員・サポーター数5万2千人)は、1993年より「三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館」(三宅村立)にレンジャーを配置し、三宅島に生息する野鳥の保護に取り組んでいるが、今回、日本の固有種で国の天然記念物にも指定されているアカコッコなどが生息する「三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館」(東京都三宅島三宅村)に、(社)昭和会館(東京、理事長：岩村和俊、会員数2百人)の援助を得て、インターネットカメラ2台を設置した。これにより、インターネットに常時接続できるパソコン端末から、日本野鳥の会のホームページを開くだけで、水浴びするアカコッコや2000年の大噴火により影響を受けた自然の様子をライブ映像で閲覧できるようになった。

閲覧に際しては、アクセス順ながらパソコン端末から、カメラを上下左右、ズームなどの遠隔操作ができ、音声も聞ける。

日本野鳥の会では、昨年、タンチョウの生息地「鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」にライブカメラを設置したが、今回はその第2弾。今後も引き続き、サンクチュアリや野鳥保護区などにインターネットカメラを設置して、野鳥や自然の魅力をお茶の間に伝えていく。

【日本野鳥の会のホームページ】

■<http://www.wbsj.org>

【(社) 昭和会館】

■沿革

「社団法人 昭和会館」は、華族制度と貴族院が存在していた時代に、貴族院男爵議員中心の政治会派である「公正会」が国会に貢献する目的をもって昭和2年9月7日に設立した団体であります。その後、昭和22年5月3日憲法が改正され、華族制度および貴族院が廃止され、本来の任務が終了したのを期に、あらためて定款を改定し『公益法人』として出発することになり、昭和23年5月12日、東京都よりこれが認可されました。以来、公益法人として社会・公益のために貢献する団体等に対する援助を主体とし、その他講演会・談話会・会員相互啓発等の活動を続け今日に至っております。

なお、現在昭和会館は、約200名の会員で構成されております。

■事業目的

昭和会館の事業目的は、定款で下記のように定められております。

- 1、社会、公益のために貢献する団体等に対する援助
- 2、講演会、談話会、研究会、その他の集会の開催
- 3、会館の維持運営
- 4、その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■所在地

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞ヶ関ビル 20F
TEL : 03-3581-1621 (代)

【三宅島の自然と日本野鳥の会の活動】

三宅島は、東京から南南西へ約180kmの太平洋上にある、周囲約38km、面積は55km²ほどのほぼ円形をした火山島です。温暖な気候が育くんだ照葉樹林に覆われており、国の天然記念物のアカコッコ、イイジマムシクイ、カラスバト、固有亜種のオーストンヤマガラやミヤケコゲラなど三宅島ならではの野鳥が生息しています。野鳥の生息密度が高く、別名“バードアイランド”とも呼ばれています。

当会では、三宅島の豊かな自然と野鳥の保護、三宅島の振興の両立を目的に、「三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館（以下、アカコッコ館）」を拠点に活動をしています。

現在、三宅島では、2000年6月に始まった火山活動により、照葉樹林が大きくダメージを受け、野鳥の生息環境の激変が起きています。住民の生活も5年ぶりに全島避難からの帰島とはなりまし

たが、未だに高濃度地区などで活動が制限されている場所もあります。

当会ではこうした状況の中で、科学的な調査方法に基づいた野鳥の生息状況の把握、島民と自然が共存する復興のあり方への支援、特色ある三宅島の自然を活かした島の経済復興を応援いたします。

そのため、2005 年 2 月の避難指示解除後には、アカコッコ館の運営を復旧するとともに、みやけエコネット等による自然情報の発信、自然ガイドの養成などの活動を行っています。

今回のインターネットカメラの設置は、三宅島復興の一助として、2000 年噴火災害によって影響を受けた自然や戻ってきた野鳥の様子を、多くの方に知っていただくきっかけとなることを願って実施するものです。

【三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館】

アカコッコ館は、特色ある三宅島の自然を将来へと受け継ぎ、自然にふれあうための拠点として、三宅村が 1993 年に開設した施設です。火山活動のために 2000 年 9 月から休館していましたが、昨年 7 月より約 5 年ぶりに運営を再開しました。日本野鳥の会のレンジャーが常駐し、来訪者への自然解説や自然環境の調査、自然情報の発信、自然ガイドの養成などの活動を行っています。

〒100-1211 東京都三宅島三宅村坪田 4188

TEL : 04994-6-0410 FAX : 04994-6-0458 E-mail : miyakejima@aq.wakwak.com

開館時間 午前 9 時～午後 4 時 30 分

休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

利用料金 一般 200 円（15 人以上の団体：2 割引）中学生以下・65 才以上：無料

アカコッコ館 <http://www.wbsj.org/sanctuary/132/index.html>

みやけエコネット <http://www.miyake-eco.net>

【アカコッコ（国・天然記念物、環境省 RDB 絶滅危惧Ⅱ類）について】

アカコッコ館の名称にもなっている野鳥・アカコッコは、伊豆諸島とトカラ列島でのみ繁殖する日本固有のツグミの仲間です。伊豆諸島では、大島から青ヶ島にかけて生息し、北部より南部の島で多く見られます。三宅島は本種の代表的な生息地で、三宅村の島にも選定されています。自然林から二次林までのさまざまな環境で暮らし、中でも照葉樹林の低木層があまり発達していない場所で多くみられます。また、林のふちで餌を探し、主にミミズやムカデ、昆虫類などを食べています。季節によってはハチジョウグワやタブノキなどの実も食べます。子育ての時期は 4 月から 7 月にかけてで、木の根や草の茎、コケなどを土で固めたお椀状の巣を樹上に作ります。卵の数は 2～5 個で、雌雄共同で雛を育てます。

【インターネットカメラ】

■設置場所

「三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館」

〒100-1211 東京都三宅島三宅村坪田4188

TEL : 04994-6-0410

■稼働時期と時間帯

稼働期間は通年。時間帯は6時～18時の間。

この件に関するお問い合わせは

財団法人 日本野鳥の会

〒151-0061 東京都渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1F

(担当：会員室 室長代理 安藤康弘)

TEL : 03-5358-3512 FAX : 03-5358-3608

E-mail ando@wbsj.org <http://www.wbsj.org>

現地：「三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館」

〒100-1211 東京都三宅島三宅村坪田4188

(担当：チーフレンジャー 山本裕)

TEL : 04994-6-0410 FAX : 04994-6-0458

E-mail yamamoto.y@ai.wakwak.com